



世界に挑んだ 優駿たち

— Vol.15 —

▼2001年ドバイ・ワールドC (G1)

▲2001年エリザベス女王杯 (G1)

記憶に残る勇敢な逃げ トゥザヴィクトリー

2001年にエリザベス女王杯を制したトゥザヴィクトリー。早くから将来を囑望されながらG1勝ちはこの一つにとどまり、ファンの熱い期待に反することも多かったが、海外へ出て世界を驚かせる快走を見せたのもこのサンデーサイレンス産駒だった。

トゥザヴィクトリーのデビューは1998年。新馬戦を快勝すると、3歳となった翌年1月のつばき賞に勝利。アネモネSで3着に敗れたものの、抽選を潜り抜けて出走した桜花賞では2番手から粘り込んで、プリモディーネの3着に入った。続くオークスでは1番人気に推され、直線でいったんは抜け出したものの、後方から強襲したウメノファイバーにゴール寸前、ハナ差交わされて戴冠の機を逸した。

その後、ローズS、秋華賞ともに1番人気に応えられず4、13着に敗れたトゥザヴィクトリーは、4歳となった2000年の夏に復調。エプソムCを5着とすると、逃げの戦法に切り替えたマーメイドSで2着。続くクイーンSに優勝して念願の重賞タイトルを手にとると、府中牝馬Sも逃げ切って重賞2連勝を果たした。しかし、大目標としていたエリザベス女王杯では最後に脚色が鈍り、ファレノプシスの4着に敗退。それでも次走の阪神牝馬特別では先行・抜け出しの強い競馬で後続を突き放し、三つ目の重賞タイトルを手に入れた。

そして5歳を迎えた2001年、陣営は愛馬の舵を大きく切る。新たな活



路を見出すため、ダート戦線へと向かったのである。その第一弾として出走したフェブラリーS。トゥザヴィクトリーは果敢に先行すると、ノボットゥルーとウイングアローには交わされたものの、3着に健闘した。

ここで彼女は予定どおりにドバイへ遠征し、ダートを舞台とするドバイ・ワールドCへと出走。好スタートから先手を奪って軽快に逃げ、直線へ向いても先頭を譲らない。結果として、のちに日本で種牡馬入りするキャプテンスティヴに差されたものの3馬身差の2着に粘り込み、本レースに出走した日本馬として初めての上位入賞を果たしたのだった。

帰国したトゥザヴィクトリーは再び芝に戻ったエリザベス女王杯で、後方からの差し切りという新味を発揮して初のG1制覇を達成。その後は残念ながら勝利をあげることはできず、翌2002年のドバイ・ワールドC (11着) を最後に現役を引退した。

2011年にヴィクトワールピサがドバイ・ワールドCを制してやや影が薄くなったものの、ドバイの大舞台で日本馬として初めて「もしかして」という夢を見せてくれた彼女の勇敢な逃げは、今も多くのファンの目に焼き付いている。

全成績		中央19戦6勝 海外2戦0勝				
年月日	場	レース名	距離	着順	タイム	騎手
1998.12.13	阪神	3歳新馬	1600	1	1:39.1	幸 英明
1999.1.10	京都	福寿草特別	2000	2	2:02.2	武 豊
1.30	京都	つばき賞	2000	1	2:02.0	武 豊
3.20	阪神	アネモネS	1400	3	1:25.6	武 豊
4.11	阪神	桜花賞(G1)	1600	3	1:35.9	幸 英明
5.30	東京	優駿牝馬(G1)	2400	2	2:26.9	武 豊
9.26	阪神	関西テレビ放送賞ローズS(GII)	2000	4	2:01.0	武 豊
10.24	京都	秋華賞(G1)	2000	13	2:00.3	武 豊
2000.6.11	東京	エプソムC(GIII)	1800	5	1:50.1	蛭名 正義
7.9	阪神	マーメイドS(GIII)	2000	2	1:59.1	幸 英明
8.13	札幌	クイーンS(GIII)	1800	1	1:46.8	藤田 伸二
10.15	東京	府中牝馬S(GIII)	1800	1	1:48.3	四位 洋文
11.12	京都	エリザベス女王杯(G1)	2200	4	2:13.4	四位 洋文
12.17	阪神	サンケイスポーツ杯阪神牝馬特別(GII)	1600	1	1:33.8	四位 洋文
2001.2.18	東京	フェブラリーS(G1)	ダ1600	3	1:35.8	武 豊
3.24	ドバイ	ドバイ・ワールドC(G1)	ダ2000	2	—	武 豊
11.11	京都	エリザベス女王杯(G1)	2200	1	2:11.2	武 豊
11.25	東京	ジャパンカップ(G1)	2400	14	2:30.5	四位 洋文
12.23	中山	有馬記念(G1)	2500	3	2:33.3	武 豊
2002.2.17	東京	フェブラリーS(G1)	ダ1600	4	1:35.5	武 豊
3.23	ドバイ	ドバイ・ワールドC(G1)	ダ2000	11	—	O. ペリエ

※レース名は当時の表記による

トゥザヴィクトリー 牝 鹿毛 1996年2月22日生

調教師：池江泰郎 馬主：金子真人氏

父 サンデーサイレンス 1986 青鹿	Halo	Hail to Reason
		Cosmah
	Wishing Well	Understanding
母 フェアリードール 1991 栗	Nureyev	Mountain Flower
		Northern Dancer
	Dream Deal	Special
		Sharpen Up
		Likely Exchange